

2021年1月22日

アメリカ合衆国大使館気付

ジョセフ・ロビネット・バイデン・ジュニア大統領 閣下

アメリカ合衆国における臨界前核実験実施に抗議します

貴国が、2020年11月に、ネバダ州で臨界前核実験を実施していたことが明らかになりました。この時期は、核兵器禁止条約に批准した国・地域が50に達し、発効が確定した直後にあたります。核兵器廃絶へ向け新たな一歩を踏み出した国際社会の動きに逆行する行為であり、極めて遺憾です。

被爆者をはじめとする平和を希求する世界中の人々の切なる思いを踏みにじる行為で、到底容認できるものではありません。

私たちは唯一の戦争被爆国である日本の生活協同組合の連合会として、被爆者や全国の生協の仲間と共に核兵器の非人道性について学び、人類が再び被爆者を生む過ちを犯さぬよう、核兵器廃絶をすすめる取り組みを続けています。

今回の貴国の実験に強く抗議するとともに、今後計画されている一切の核実験を中止し、「核兵器なき世界」の実現に向けてNPT（核兵器不拡散条約）で約束した誠実な核軍縮に取り組むことを強く求めます。

日本生活協同組合連合会